

ふっさ

市議会だより

No.229 令和4年7月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



Twitter



Facebook



▲ふっさ環境フェスティバルのステージイベントの様子

令和4年第2回定例会
6月7日～6月24日

プレミアム付商品券事業・シニアお買物券 配布事業を含む補正予算等を可決

議員提出議案第1号

国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年に制定され、平成8年7月20日から施行されているが、平成15年以降いわゆるハッピーマンデー化により7月の第3月曜日となっている。

我が国と海との歴史的、文化的及び経済・社会的な関わり並びに海の日制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全及び環境保全について思いをはせる機会とするためにも、「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長)

令和4年第2回定例会は、6月7日から6月24日まで会期18日間で開催されました。
専決処分報告及び一般会計補正予算など、市長提出議案13件、議員提出議案1件が審議されました。
また、16名の議員による一般質問が行われました。
市民等から提出のあった陳情5件は、採択が1件、不採択が1件、継続審査が3件となりました。

14日	5日	▼7月	24日	21日	17日	16日	15日	14日	10日	9日	8日	7日	▼6月	31日	10日	▼5月
議会運営委員会	横田基地対策特別委員会	議会運営委員会	第2回定例会5日目 全員協議会 議会運営委員会	議会運営委員会	横田基地対策特別委員会	総務文教委員会	市民厚生委員会	建設環境委員会	第2回定例会4日目 全員協議会	第2回定例会3日目 議会運営委員会	第2回定例会2日目 議会運営委員会	第2回定例会1日目 議会運営委員会	第2回定例会1日目 議会運営委員会	議会運営委員会	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

◆会議の開催状況と審議日程◆

● 主な内容 ●	
◆一般質問(要旨)……	2～5面
◆議案の審議結果……	6面
◆可決等された案件……	6～7面
◆委員会の審査……	7～8面
◆特別委員会活動……	8面

一般質問(要旨) 「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は8月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



物価高騰への対応について



正和会
武藤 政義 議員



質問 世界的な資源価格の上昇や、急激な円安等の影響による昨今の物価高騰への本市の対応を伺う。

市長 市民や事業者の生活を守るためには、幅広い層へ早急にきめ細やかな対策を行うことが重要と考える。低所得世帯へ住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業及び低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業を実施する。また、幅広い

層へ地域経済の活性化、消費喚起を促すプレミアム付商品券事業を昨年度に引き続き実施する。さらに、学校給食等における食材費高騰への対応や年金生活者への経済的支援など、子育て世帯や高齢者への対策も急いで検討し、切れ目のない対策を速やかに実施したい。

戦闘機の飛来・演習について

質問 5月9日から13日に横田基

地で実施された演習「ビバリーモーニング22-01」の内容と、本市の対応等について伺う。

市長 演習では迅速機敏戦闘展開訓練と重大事故即応演習が実施され、連日、三沢基地所属のF16戦闘機の離着陸が行われた。4月27日に横田基地周辺市町基地対策連絡会から国及び米軍に要請したが、今後、戦闘機の訓練を実施しないよう求める。



▲高齢者への経済支援施策「シニアお買物券」ポスター

福生市の介護について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 本市の介護現場の現状と福生市認定ヘルパーについて伺う。

市長 要介護・要支援者の増加に伴い介護人材の確保は困難になりつつあり、介護保険事業計画(第8期)において介護人材の確保を推進することとし、家事援助サービスを提供する本市独自の制度。認定ヘルパー養成講座は、18歳以上で高齢者の生活支援業務に従事する意欲のあ

る方が受講可能で、訪問型サービスA事業提供者として従事できる。

福生市の英語教育の現状と今後の取り組みについて

質問 本市の小学5年生と中学2年生が参加する体験型学習施設を活用した英語教育について伺う。

教育長 令和5年1月に東京都教育委員会が立川市に開設する体験型学習施設「東京グローバル・ゲート

ウェイ・グリーン・スプリングス」にて、海外の生活場面を想定した疑似空間で身近な課題に英語を使って挑戦したり、環境問題や演劇など様々なテーマについて、英語でディスカッションしたりするなどのプログラムを行う。児童・生徒一人一人の英語の習熟度に合わせた英会話が可能となり、英語を学ぶ意欲が持てる貴重な体験となると考える。



▲認定ヘルパー養成研修修了証の見本

持続可能なまちづくりタスクフォースについて



正和会
石川 義郎 議員



質問 新たな時代に対応すべく、市の発展策の構築を目的として設置されるとのことだが、経緯や狙い、メンバー構成等について伺う。

市長 令和2年3月に福生市総合計画(第5期)を策定し、事業を推進しているが、それ以後、人口減少や福生駅西口地区市街地再開発事業等、市政を取り巻く状況は数々の課題に直面している。さらに、新型コ

ロナウイルス感染症を機に始まった新しい生活様式など、社会環境の変化に対応した発展策を構築するため、通常の組織とは別に課題解決のためのミッションを担い、組織横断的かつ機動力を持たせた「タスクフォース」の設置が有効であると考えた。メンバーは、原則入庁5年目から10年目の立候補をした者から選定した若手職員15名で、次なるステージで

ある修正後期基本計画へ向け、市が持続的な発展を推進するための施策の検討を行う。また、検討をスムーズに進めるため、管理職の職員がメンバーに対し助言を行う機会を設けるなど、ベテラン職員が培ってきた経験や知見と、若手職員のみずみずしい感性をうまく組み合わせる工夫も講じ、次代を担う若手職員による意欲的な提案や施策を期待している。



▲タスクフォースの活動の様子

まちづくりにおける多様な主体との連携について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 多様化する市民ニーズへの対応や、新たな事業や取り組みを行う場合、自治体間の広域的な連携が一層重要と考えるが、市の所見は。

市長 本市ではこれまでも積極的に複数の自治体と広域連携に取り組んでいる。広域連携は、多様化する市民ニーズへの対応や、効果的・効率的な行政サービスを提供するための有効な手段と考えるが、自治体間

で利害の調整が必要。今後も様々な機会や関係者との対話を通じて、住民サービス向上の連携に努める。

質問 公共施設の老朽化やコストが多額の自治体で課題となっている。各自治体がバラバラに縮小、総量抑制に動くのではなく、複数の自治体の連携でコストを負担し合うことで、総量抑制に係る諸課題に回答を与えていくことも可能ではないか。

企画財政部参事 複数の自治体による施設共同設置・運営は、立地の選定や各自治体の市民の利便性、費用負担及び自治体間の利害の一致など課題も多い。広域の観点で踏まえ適正な施設の保有量、再配置を研究しつつ、対外的には自治体間の情報交換や西多摩広域行政圏などのプラットフォームを活用し、連携の素地がつかれるのか、可能性を追求する。



▲広域連携の取り組み等をまとめた冊子

火災発生時等緊急車両の道路確保等について



正和会
小林 貢 議員



質問 災害発生時等に緊急車両等の現場到着を速やかにするには、狭あい道路や行き止まり道路の改善が必要。今後の取り組みや対策を伺う。

市長 幅員の狭い市道に接する土地で建築行為等を行う場合、福生市狭あい道路拡幅整備要綱に基づいて、用地買収や寄附により市が道路用地として取得し整備していく。狭あい道路等の解消は、貴重な財産をお譲

りいただくことになるので、簡単に事業が進むわけではないが、災害に強いまちづくりを推進していく上で重要な課題であるため、今後も地権者のご協力をいただきながら、道路用地の確保、安全で利便性の高い道路空間の整備に努めていく。

火災発生時等の防災行政無線について

質問 火災発生時は緊急放送により消防団員の出勤が促されるが、気

象状況等で聞き取れないことも考えられる。防災行政無線以外での伝達手段について伺う。

市長 防災行政無線は、市内全域で聞き取れるよう無線放送塔の調整を適宜行っているが、聞き取れない場合でも、ふっさ情報メールや福生市あんまちツイッター、移動系無線など情報を取得する手段は整っており、速やかな出勤は可能と考える。



▲市内の防災行政無線

誰もが使いやすいトイレについて



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 病気や加齢で尿漏れパッドや紙おむつを使用する男性が増えているという。外出等の生活サポートとして、男性用トイレへのサンタリーボックス設置について伺う。

市長 市庁舎ではユニバーサルデザインのトイレに容量の大きいサンタリーボックスを設置しご利用いただいております。そちらへの誘導を基本としつつも、多様な利用者への配慮

等、設置に関して検証したい。

女子児童・生徒の生理に関する環境整備等について

質問 「生理の貧困」問題に対し、昨年市内の小・中学校で女子トイレへ生理用品を設置する実証実験が行われたが、実施の経緯や内容を伺う。

教育長 都教育委員会が令和3年9月に都立学校の女子トイレに生理用品を置く取り組みを始めたのを受

け、実態把握のためトイレ等への設置と女子児童・生徒及び教職員へアンケートを実施。経済的理由で購入できないケースは少なかった。また以前は保健室に生理用品を置いたが、トイレの個室に置いたことで使用しやすく、今後もトイレに置いたほうが良いと児童・生徒の99%が回答したため、各小・中学校のトイレに設置する方向で現在調整している。



▲ユニバーサルデザインのトイレに設置されているサンタリーボックス

サイクルシェアリング事業の推進について



正和会
串田 金八 議員



質問 今年度より新事業が開始されたが、改善点等の詳細を伺う。

市長 4月より正式にサービスの提供を開始したHELLO CYCLINGによる事業の実施にあたり、課題解消に取り組んだ。これまで対面による事前の会員登録が必要であったが、スマートフォンやタブレットから専用アプリでいつでも可能となった。サイクルステーションは人

口密集地点と駅周辺へバランスよく設置し従前の5か所から18か所に拡充させ、利便性を向上させた。同じHELLO CYCLINGのサイクルステーションであれば市内外どこでも貸出・返却が可能で、立川市をはじめ導入済みの他自治体と相互乗り入れできる。今後も運用状況を注視し、さらなる事業の推進を図る。

待機児童ゼロと保育所整備について

質問 先日、市内の保育施設が廃園になったが、本市の待機児童ゼロへの影響はないのか。令和5年度においても達成できるか伺う。

市長 待機児童ゼロは市として可能な限りの対策を講じて実現している。令和5年4月から他の保育施設での増設により、乳児クラスの定員が増加する予定で、廃園による大きな影響はないと考える。



▲シェアサイクルコンセプト動画より

おくやみ手続きの支援について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 本市のおくやみ手続きの支援について所見を伺う。

市長 おくやみの手続きは、死亡の届け出に葬儀業者等が代理で来庁されることが多いため、本市では令和4年3月に作成した「おくやみハンドブック」を代理の方からご遺族にお渡しいただいている。各種手続きがスムーズに行えるよう、ご案内やその流れ、必要な持ち物、問い合

わせ先を掲載し、来庁の際には1つの窓口で手続きが完結できるワンストップサービスを実施し、ご遺族の負担軽減に努めている。

文化財の継承に関する人材の育成について

質問 文化財ガイドの現状と、今後の取り組みについて伺う。

教育長 文化財・史跡ガイドボランティアの活動は、新型コロナウイ

ルスの感染拡大を受け、令和2年度から3年度にかけて休止しているが、感染状況を見て活動を再開したいと考えている。特に令和元年度に登録したガイドの方々には、実地研修や実際のガイド体験が不足しているため、活動が軌道に乗るよう、市内の史跡などを実際に巡り、ガイドとして案内をするフィールドワーク等を実施する必要があると考える。



▲おくやみハンドブック

母子保健の充実について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 妊婦健康診査受診票の助産所での利用について伺う。

市長 妊婦健康診査受診票は都内の指定医療機関でのみ利用が可能だったが、令和4年6月から市内の契約助産所での使用も可能とした。運用前は受診するごとに5000円程度を支払い、出産後に助成金の申請手続きを行っていただいていたが、出産までの経済的負担が大きいとの声が

あった。令和4年4月の都からの通知で、各自治体の判断で実施可能との見解が示され運用開始に至った。

小中一貫教育について

質問 小中一貫教育の類型と、それぞれの違いと特徴について伺う。

教育長 小中一貫教育は、平成27年に義務教育学校が新たな学校の類型として法制化された。義務教育学校は、1人の校長の下で、9年制で

一つの教職員集団が一貫した教育課程を編成、実施するもの。一方、小中一貫型小学校・中学校は、学校教育法及び学校設置条例上、独立した小学校及び中学校が義務教育学校に準じる形で一貫した教育を施す学校で、両者は法令上の位置づけが異なる。施設形態には、敷地と校舎の関係により、施設一体型、施設隣接型、施設分離型の3通りがある。



▲妊婦健康診査受診票

健康管理事業について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 本市における子宮頸がん検診の現状について伺う。

市長 本市では、国の指針に基づき、20歳以上を対象に子宮頸がん検診を実施している。市内医療機関での実施のほか、市独自の取り組みとして年に2回保健センターでの集団検診も実施している。また、がん検診推進事業の対象となる20歳の方には子宮頸がんの検診手帳及び子宮頸

がん検診無料クーポン券を送付し、受診勧奨に努めている。

子宮頸がんワクチンについて

質問 子宮頸がん予防ワクチンの接種について、本市の考え方を伺う。

市長 市町村の役割として、接種対象者等への情報提供等があり、有効性・安全性に関する情報や円滑な接種のための情報等を市広報及びホームページに掲載し、接種が完了し

ていない全対象者に個別通知を開始している。積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方には、時限的に従来の対象年齢を超えて接種を行うキャッチアップ接種に関する個別通知を行う。期間は令和4年4月から7年3月までの3年間とし、副反応等に関する情報について、医療機関や自治体、医師会等との連携を通じ情報共有を行う。



▲子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種のリーフレット

グリーフケアについて



公明党
青木 健 議員



質問 グリーフとは、近親者との死別・別離をはじめとして、様々な愛情や依存の対象を喪失した際に生じる反応を指し、長期化することで極度の不安、抑鬱、PTSD(心的外傷後ストレス障害)など精神保健上の問題が生じることがあるが、適切な介入・支援によって問題を軽減できるとも言われており、ケアの視点が重視されようになった。厚生労働省ではグリーフケアに関する手引きを作成し、活用を促す通知を都道府県などに出しているが、本市における取り組みについて所見を伺う。

市長 国は、残された方への支援として、平成30年11月に自殺総合対策推進センターが『自死遺族等を支えるために～総合的支援の手引』を作成。令和3年6月には厚生労働省開催の、周産期のグリーフケアに関

する自治体説明会で、市区町村で活用可能な事業や、きめ細やかな支援体制の整備について示された。

本市としては、遺族と接する機会や個別相談等があった際の対応については、どの部署においてもしっかり傾聴し、適切な情報提供と専門機関への丁寧なつなぎなど、遺族の地域、社会からの心理的な孤立が続かないよう、しっかり対応していく。



▲東京都発行のリーフレット

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 5月9日から13日にかけて行われた戦闘機が多数飛来した軍事演習「ビバリーモーニング」について、要請等の本市の動きを伺う。

市長 4月27日に横田基地周辺市町基地対策連絡会から国及び米軍に対して、昼夜を問わず横田基地において戦闘機の訓練を実施しないことについて要請した。また、5月10日に横田基地と横田防衛事務所を訪問

し、日米友好祭に関する要請を行った際にも改めて、周辺住民からの騒音に関する苦情について申し入れた。

福生市民会館について

質問 市民会館のおおよその沿革と、魅力や特徴をどのように捉えているか伺う。

教育長 昭和35年建設の西多摩郡自治会館が39年に福生町へ移管され、市制施行により45年に福生市民会館

と名称を変更、52年に現在の建物に建て替えられた。様々な行事に対応できる大ホール及び小ホールと、集会室、音楽室、調理室、展示スペースなど、活動目的に応じた多様な部屋を備えるとともに、公共交通機関からもアクセスしやすく、また、本市内全域から多くの市民の皆様が来館しやすい場所に設置されていることも魅力と捉えている。



▲福生市民会館外観

ICT教育、GIGAスクール構想について



日本共産党
池田 公三 議員



質問 経済協力開発機構が行っている国際的な学習到達度調査では、タブレット端末の活用時間が長い生徒ほど学力が低下する傾向があると指摘している。本市の学校や家庭での活用についてどのような工夫をしているか。

教育長 児童・生徒がiPadを使うタイミングや使い方を主体的に判断し、直面する学習課題を解決す

るためのツールの一つとして使えることを目指している。今後もiPadを活用した授業改善に取り組む。

質問 子どもによっては親に隠れて長時間利用し、担任から保護者に連絡が来るケースもあるようだ。家庭への持ち帰りは保護者の選択にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

教育部参事 本市が導入したiPadはLTE通信機能を有し、家庭

にWi-Fiがなくても利用でき、児童・生徒の主体的な学びにつながっている。一部の児童・生徒に長時間利用やフィルタリング解除などの不適切な利用実態があるのは承知している。市教育委員会は毎日利用状態を把握し、各校長と連携して組織的に対応している。iPadの持ち帰りについて保護者から相談が寄せられた場合は丁寧に対応している。



ドクターヘリについて



公明党
原田 剛 議員



質問 令和4年3月、市営加美平野球場、市営競技場、市営福生野球場に関し、「ドクターヘリ飛行場外離着陸場としての使用に関する協定」が締結されたが、ドクターヘリの概要について伺う。

市長 医療機器や医薬品を搭載したヘリコプターで、現場に急行し、医師が治療しながら患者を医療機関に搬送するもので、多摩地域を中心

に新たに運航が開始された都の事業。協定の締結により救急患者がより早く適切な治療を受け、救命、後遺症の軽減につながればと考えている。

食材等の高騰における給食について

質問 食材の値上がりが相次いでいるがその対応と本市の状況を伺う。

教育長 物価高騰による学校給食への影響等が懸念されることから、新型コロナウイルス感染症対応地方

創生臨時交付金の拡充により創設される「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、学校給食等の保護者負担の軽減に向けた取り組みを進めるよう、文部科学省から通知があった。本市においても一部の食材に価格高騰の影響が生じていることから、拡充された臨時交付金を活用し、本定例会中に追加の補正予算案として提案したい。



▲ドクターヘリ飛行場外離着陸場の福生野球場

学校での性教育について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 小・中学生が様々な事件の被害者に、時には加害者になっていることを捉え、本市でも早い時期から年齢に応じて性教育が必要と考えるが、本市の学校の性教育ではどのような指導が行われているか伺う。

教育長 小学校体育科と中学校保健体育科では、他の教科等の内容と関連付けながら指導している。令和4年度は、本市立中学校全校が都教

育委員会から性教育の授業実施校の指定を受け、講師として産婦人科医を招いた性教育の授業を実施する。
児童・生徒を教職員等による性暴力から守る取り組みについて

質問 児童・生徒を教職員などによる性暴力から守るための本市教育委員会の取り組みについて伺う。

教育長 教職員へはサービス事故防止に向けた意識の向上を図るため、年

3回のサービス事故防止研修と、職員会議や研修会等の時間の一部を活用し日常的な研修を実施。児童・生徒には相談機関をまとめたリーフレットを配布・配信し、東京都総務局作成の性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センターを周知するカードを市内中学校第2学年に配布。保護者には都教育委員会の第三者相談窓口設置を各校ホームページで周知する。



▲市内中学2年生へ配布したカード

本市における地域自立支援協議会について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 地域自立支援協議会は、地域の障害者の支援について様々な関係機関が連携し課題の解決に向けた協議を行う機関であるが、有効に機能するには課題があると考える。協議会の現状について伺う。

市長 この協議会は年に3回から4回開催し、別組織の障害者福祉サービス指定事業所連絡会からの報告に基づき、個々の障害者の状況や支

援、各障害者団体が抱える諸問題について情報共有し検討をするほか、障害者支援施策についての協議など、様々な課題に議論を深め解決策を模索している。引き続き、障害者・障害児やその家族が抱える様々なニーズに対応していくため、協議会を中心とした支援を継続したい。

質問 他市では協議会に地域の課題を反映した専門部会を設置し、部

会名称や回数もそれぞれの実情に沿って実施していると聞く。本市でも分野別に常設することで、複雑な課題に対応できるのではないかと。

福祉保健部長 専門部会の設置には、構成委員や部会の開催頻度などについても検討する必要があることから、協議会の委員や事業所連絡会の方々の意見を伺いながらよりよい体制を見出してみたい。



陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択
○国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情書(4・7号)

◆不採択
○中央図書館臨時窓口に関する陳情書(4・8号)
(不採択理由)

中央図書館の改修工事は将来にわたり良質なサービスを提供するために必要なものであり、その影響による一時的な不便は令和5年12月までと期間が限定されている。また、本市の他の図書館は土曜日、日曜日も開館をしており、武蔵野台図書館では夜間開館を行っている。さらに、西多摩地域8自治体での図書館の広域利用、立川市、昭島市との相互利用も可能であることから、意に沿い難い。

討論

●国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情書に対する討論

■反対
天皇主権の下、軍国主義日本が侵略戦争遂行のために制定した「海の日」であった「7月20日」を、二度と戦争はしないと誓った国民主権の今の時代に復活させようとするのは時代錯誤も甚だしいことから、本陳情に反対する。

●中央図書館臨時窓口に関する陳情書に対する討論

■賛成
福生市の図書館の充実、福生市の誇るべき事業の一つであり、福生市民がますます図書に親しんでくれるように努力するのが行政の役割である。

陳情者は学習権の保証を訴えており、立派な中央図書館に生まれ変わるまでの間、図書館サービス低下をいかに最小限にとどめるか、このことに心を砕く福生市政であってほしいことから、本陳情に賛成する。

次回定例会のお知らせ

令和4年第3回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会
8月30日(火)～9月2日(金)・27日(火)
- ◆決算審査特別委員会 午前10時開会
9月6日(火)～9日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会
9月13日(火)～15日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリングループを導入しています。

SNS
で市議会の情報を発信しています!

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

ご利用ください 市議会インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴いただけます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容
本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法
福生市公式ホームページ
「福生市議会」よりアクセス



スマートフォン、タブレット端末でも視聴いただけます
福生市議会
インターネット中継

ケーブルテレビによる 議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタル方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案							
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
議案第21号	令和4年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	中央図書館改良工事(建築)請負契約	○	○	○	○	○	同意
議案第24号	中央図書館改良工事(空調設備)請負契約	○	○	○	○	○	同意
議案第25号	市道幹線Ⅱ-11号線(本町通り)電線共同溝設置工事(第二工区)請負契約	○	○	○	○	○	同意
議案第26号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	同意
議案第27号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	同意
議案第28号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	令和4年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案							
議員提出議案第1号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	○	○	×	×	×	可決

可決等された案件(要旨)

●専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)
令和4年度の税制改正に伴う地方税法等の一部を改正する法律が同年3月31日に公布されたことにより、法人市民税や固定資産税など、福生市税賦課徴収条例の一部を改正する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がないため、同日をもって福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例を専決処分とし、施行期日を4月1日とするもの。

●専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)
令和4年度の税制改正に伴う地方税法等の一部を改正する法律が同年3月31日に公布されたことにより、負担調整措置についてなど、福生市都市計画税条例の一部を改正する必要があるが生じたが、議会を招集する時間的余裕がないため、同日をもって福生市都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分とし、施行期日を4月1日とするもの。

●専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
令和4年度の税制改正に伴う地方税法等の一部を改正する法律が同年3月31日に公布されたことにより、法人市民税や固定資産税など、福生市税賦課徴収条例の一部を改正する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がないため、同日をもって福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分とし、施行期日を4月1日とするもの。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第2号)
国の「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づく住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業及び低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業を実施するに当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3517万7千円を追加し、予算総額を264億3142万4千円とするもの。
歳入は、国庫補助金として住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費補助金5198万9千円と、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金8318万8千円とするもの。
歳出のうち、社会福祉費は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費5198万9千円。令和4年度住民税均等割非課税世帯のうち、令和3年度事業の給付を受けていない世帯に対し1世帯当たり10万円を給付するもの。児童福祉費は、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業で8318万8千円。低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を給付するもの。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号)
高齢者等の4回目接種に係る新型コロナウイルススワクン接種事業の増額や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付商品券事業などを実施するに当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1797万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を266億4940万1千円とするもの。
歳入では、国庫負担金の新型コロナウイルススワクン接種対策費負担金が4900万7千円。国庫補助金は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額と、新型コロナウイルススワクン接種体制確保事業補助金の減額との相殺により4750万3千円。都補助金では、受験生チャレンジ支援貸付窓口運営事業補助金や、市との共同による感染拡大防止対策推進事業補助金などの増額と、地域福祉推進区市町村包括補助事業補助金の減額との相殺により2472万2千円となるほか、基金繰入金は、財政調整基金の9千万円で一般財源の不足を補うため繰り入れるもの。
歳出では、児童福祉費が保育園、幼稚園、学童クラブ、児童館などの衛生対策に係る補助金及び委託料と、子育て世帯等臨時特別支援事業費国庫補助金返還金で4201万8千円。保健衛生費は、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨の再開に伴う予防接種事業の増額と、高齢者等の4回目接種に係る新型コロナウイルススワクン接種事業の増額、サイクルシェアリングの広域利用を図るためのシェアサイクル観光連携推進協議会負担金で5303万円。商工費は、新型コロナウイルス感染症拡大と国際情勢等による物価高騰への対策として、地域経済の活性化と消費喚起を促すためのプレミアム付商品券事業で、1億727万5千円などとするもの。

●中央図書館改良工事(建築)請負契約
同工事の発注に当たり、その予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の同意を得るもの。

●中央図書館改良工事(空調設備)請負契約
同工事の発注に当たり、その予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の同意を得るもの。

●市道幹線Ⅱ-11号線(本町通り)電線共同溝設置工事(第二工区)請負契約
同工事の発注に当たり、その予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の同意を得るもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
市議会議員として、8年以上の長きにわたり市の発展に貢献された杉山行男氏を自治功勞表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
市議会議員として、8年以上の長きにわたり市の発展に貢献された町田成司氏を自治功勞表彰するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

●福生市表彰条例に基づく一般表彰について

介護認定審査会委員として貢献された西村理氏、学校薬剤師として貢献された吉野美佐子氏、横田陽子氏、交通安全推進委員会委員として貢献された三浦宣詔氏、環境審査会委員として貢献された祖父江重夫氏、廃棄物減量等推進員として貢献された森田芳隆氏、保護司として貢献された田村祥子氏、民生委員推薦委員会、防災会議委員、青少年問題協議会委員をはじめ各種委員会、審議会の委員として貢献された秋山美左江氏、廃棄物減量等推進員及び青少年問題協議会委員として貢献された川浪裕之氏、消防団員として貢献された方や現在もなお活躍されている松原朝範氏、飯田理広氏、小林真氏、田中秀齊氏、高崎雅俊氏、田村宜則氏、堀江祐樹氏、明智弘樹氏、井上大地氏、笹本弥重氏、岡部広和氏、沖倉慶充氏、荻原崇広氏、尾澤祥太氏、高水康平氏、廣瀬駿氏、伊東隆広氏、市のまちづくりのために多額の現金を寄附された町田優子氏、臼井暁子氏、市道用地として土地を寄附された内田和一氏を一般表彰するもの。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による保育所等や小・中学校の給食食材費の高騰対策及び高齢者の家計支援に係る施策の実施に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8618万7千円を追加総額を268億3558万8千円とするもの。

歳入は、国庫補助金で新たに原油価格・物価高騰対応分の交付限度額が示された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億6618万7千円と、財政調整基金繰入金2千万円。

歳出のうち、社会福祉費は、高齢者の家計支援として1万円分のシニアお買物券配布事業に1億7676万円。給食食材費の高騰対策では、児童福祉費で保育所運営事業、認定こども園施設型給付事業、地域型保育給付事業に445万4千円、教育総務費では、給食食材調達事業を781万3千円増額する。

●市道路線の認定について

国土交通省関東地方整備局相武国道事務所と周

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月14日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(建設環境委員会所管分)

問 シェアサイクル観光連携推進協議会負担金の詳細について伺う。

答 令和4年度よりハロースイクルングによるサイクルシェアリングを導入。福生市と立川市間で一定の条件で利用された方に自動で無料クーポンなどの付与するためのアプリの改修費用及び無料クーポンなどの特典費用をまかなうためのもの。

問 プレミアム付商品券事業の流れと商品券の構成について伺う。

答 7月より市広報やホームページ等で周知し、申込み受付は8月1日から15日。応募多数の場合は分配方式による抽選となる。販売は市内の6か所の郵便局で9月1日から行う。利用期間は令和4年9月16日から令和5年1月31日まで。商品券は、全店共通券13枚と、大型店を除く店舗で利用できる券13枚を合わせた

500円券の26枚つづりとなる。

●市道路線の認定について

問 認定がこの時期となった理由を伺う。

答 国道16号の6車線化への拡幅や交差点の切り替え等の工事は平成30年3月に終了していたが、その後、付帯工事などが行われていたことや、都道とも接しており、相武国道事務所と都との維持管理等の協議に時間を要したことなどから、この時期の認定となった。

問 市道第337号線起点付近、武蔵野橋高架下の牛浜側に設置の防犯カメラの管理について伺う。

答 遠隔により常時監視しており、録画データ及び機器の維持管理は相武国道事務所で行っている。なお、市道となった後も、引き続き相武国道事務所が管理する合意をしている。

市民厚生委員会

6月15日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)

問 受験生チャレンジ支援貸付事業の改正について伺う。

答 令和4年度から、生活保護基準の1.5倍以下に拡大され、対象者の増加が見込まれるため、300万円を補正した。

問 予防接種事業の子宮頸がんワクチン接種の改善項目について伺う。

答 令和4年4月から、子宮頸がんワクチン接種の勧奨が再開され、定期接種の対象となる世代は、小学校6年生から高校1年生相当までの女子を対象者は約1千人を見込んだ。また、当該定期接種を受ける機会を逃した方に、定期接種の対象年齢を超えて接種を行い、対象者は約2200人を予定。

総務文教委員会

6月16日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。

また、陳情3件については、採択が1件、不採択が1件、継続審査が1件となりました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(総務文教委員会所管分)

問 文化プログラム学校連携事業について、対象学年や事業内容の詳細を伺う。

答 対象は福生第三小学校の第6学年の児童が和太鼓を、第3学年から第6学年までの児童が藍染め体験を行う。また、福生第五小学校では、第1学年、第2学年、第3学年と第5学年において民族音楽体験を、第4学年と第6学年では生け花体験を行う。

問 学校マネジメント強化事業について、副校長補佐会計年度任用職員が4名配置となるが、配置の基準について伺う。

答 配置の基準は、昇任2年目までの副校長が配置されている学校で3校。また令和3年10月の時間外在校時間が80時間を超えた副校長が配置されて

いる学校で1校である。

問 今回の補正の歳入では、財政調整基金繰入金9千万円とあるが、財源不足となった理由について伺う。

答 今回の補正は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの特定財源を積極的に活用しているが、主にプレミアム付商品券事業でマイナス2345万円、子育て世帯等臨時特別支援事業でマイナス2036万8千円、予防接種事業でマイナス4308万7千円財源不足となったため。

問 不登校対策事業について、事業内容の詳細を伺う。

答 不登校対策の充実を図り、その成果と課題を明らかにする調査研究を行う東京都の委託事業である。福生市では福生第二中学校において、不登校の未然防止をテーマに研究に取り組むこととなっている。

●中央図書館改良工事(建築)請負契約

問 近くには福生第一中学校があり、通学路も存在するが、安全対策について伺う。

答 契約前ということもあり明言はできないが、法令を遵守し、生徒の登下校の時間帯を避け、資材等搬入作業を行う予定である。

問 本事業を予定価格事

前公表対象案件とした理由について伺う。

答 福生市では、入札事務の透明性の確保、公平性及び競争性の確保を図ることを目的に、平成19年度から対象案件を130万円以上の工事案件として予定価格の事前公表を行っている。

●中央図書館改良工事(空調設備)請負契約

問 今回の工事は共同企業体(JV)ということであるが、JVに発注するということのメリットについて伺う。

答 福生市としては、JVとして工事を受注させることから、中小企業の受注機会の増大につながるものであり、構成員となる企業にとってもJVとして公共事業を受注した実績につながるものと考えている。



▲市道第336～338号線を現地視察



▲臨時さくらクラブ(三小児童クラブ)を現地視察



▲改良工事を行う中央図書館

●市道幹線Ⅱ-11号線(本町通り)電線共同溝設置工事(第二工区)請負契約

問 入札の参加社は6社で、その内5社は辞退となつているが、主な辞退

の理由について伺う。
答 主な理由は、技術者の配置が困難であることとなっている。

問 この事業を発注することとなった業者の実績等について伺う。
答 過去5年間で、福生市の受注は無いが、近隣市においては東京都発注の無電柱化関係工事の実績が多数あることを確認している。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。

令和4年度においては、1名の議員が表彰されました。

議員15年以上 清水 義朋 議員

特別委員会活動から：

横田基地対策特別委員会

6月17日に委員会が開催され、5件の議題について審査しました。

1 令和3年度防衛補助事業等実施状況について

①障害防止工事補助事業は、小中学校の防音機能復旧(復機)事業と雨水管渠更生事業について10事業を実施し、補助額の合計は5億795万5千円であった。

②民生安定施設整備補助事業は、防災行政無線(移動系)施設改良事業など5事業を実施し、補助額は7549万円であった。

③特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、交付額6億3909万7千円円を、防災食育センター維持管理等委託事業の基金に積み立てた。

2 令和5年度防衛補助事業概要要望について

令和5年度については、小中学校の防音機能復旧(復機)事業など全12事業を要望している。補助要望額の合計は、国庫債務負担行為による令和6年度実施分を含めて、8億7057万9千円である。

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動について、

新型コロナウイルス感染症対策のため訪問人数に制限はあるが、7月5日に市議会及び横田基地対策特別委員会を代表して正副議長、正副委員長が行うこととなった。

要望内容については、基地周辺対策の充実、市が概算要望をしている令和5年度防衛補助事業の全事業の採択、基地の運用に伴う安全確保の徹底、騒音防止対策の推進など、全14項目について要望する。



▲防衛省本省にて要望書を提出(7月5日)

4 横田基地日米友好祭について

①5月21日及び22日に、前回(令和元年9月)から約3年ぶりに日米友好祭が開催された。2日間合計の来場者数は、参加者を含めて11万人以上であった(前回は14万人)。

②米軍、自衛隊等の航空機の地上展示や米軍機の飛行展示、陸上自衛隊第一空挺団による空挺降下の展示、各種露店の設置、

特設ステージでのバンド演奏等が行われた。花火は、21日の夜に打ち上げられた。

⑤ 横田基地に関する情報等について
①5月9日から13日の間、三沢基地所属のF16戦闘機の離着陸を含む迅速な展開を行う訓練等が実施された。期間中、市民から37件の航空機騒音の苦情があった。

②5月中下旬頃から約5か月間の予定で、無人偵察機グローバル・ホーク2機が横田基地に一時展開している。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

■5月10日に委員会が開催され、4件の議題について審査しました。

1 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について

福生市新型インフルエンザ等対策本部会議は、令和4年3月19日から5月9日までに31回(総計260回)開催されたとの報告があった。また、都のリバウンド警戒措置の期間が5月22日まで延長となったことに伴い、市の対応も同日まで延長することを決定したとの報告があった。

委員から、公共施設の現在の対応について質問があり、利用中止等は最低限にとどめ、感染防止対策を行った上で開放を

しているとの回答があった。

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
令和4年5月1日現在の3回目の接種状況について、65歳以上の87・56%が接種を済ませ、全体の接種率は53・79%との報告があった。また、3月25日から12歳〜17歳の3回目の接種を開始したとの報告があった。

3 社会活動等について
協働推進課では、令和2年度において東京都が緊急対策として募集を行った「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る普及啓発事業助成金」の活用について、町会・自治会が東京都に対して行う申請や実績報告書類の提出補助を行ったとの報告があった。

教育指導課では、「福生市立学校版新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」『学校の新しい生活様式』『また「緊急事態宣言下等における学校運営について」に基づき、校長と十分に連携し、学校運営上とるべき感染リスクを低減した上で児童・生徒の学習に取り組んでいるとの報告があった。

教育支援課では、学校給食における主な対策として、黙食の徹底に加え、食品を直接手で触れる機

会を軽減するため、果物の提供を取りやめ、果実ゼリーへ変更を行ったことやパンの個別包装化を実施している等の報告があった。また、第6波では、市内の小・中学校から感染者の報告が急増し、教育部全体に依頼を依頼して体制の構築を図ったとの報告があった。

4 市議会感染症対応マニュアルについて
委員から、細部について、理事者側の確認が必要ではないかという意見があり、次回の委員会で結論を出すことになった。

6月17日に委員会が開催され、4件の議題について審査しました。

1 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について
福生市新型インフルエンザ等対策本部会議は、令和4年5月10日以降は26回(総計286回)開催されたとの報告があった。

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
令和4年6月12日時点における3回目の接種率は、65歳以上は89・51%、全体では60・39%となっており、小児接種につい

ては、2回目を接種された方は17・73%との報告があった。5月25日から60歳以上の方、基礎疾患のある方の4回目の接種が開始されたとの報告があった。6月1日には、小児接種アンケートの結果がまとまったことから、市民の皆様の判断材料としていただくために広報ふっさ等に情報提供を行ったとの報告があった。

3 社会活動等について
これまで4回にわたり行われた調査・報告の内容を概要版としてまとめたいもの提示し、福生市に対する提言をどのような形にするのが良いかについて各委員の意見を聴取した。

4 市議会感染症対応マニュアルについて
理事者側から、支障のない範囲で対応できる旨の確認が取れたとの発言があり、福生市議会感染症対応マニュアルは案のとおり決定することとなった。なお、本マニュアルは議会運営委員会に報告することになった。

市民厚生委員会では、これまで感染拡大防止の観点から控えていた現地視察が行われました。臨時さくらクラブ(三小に設置された学童クラブ)は令和2年4月に設置。ようやく必要な視察を行うことができ議会の役割が果たせました。

横田基地の日米友好祭が3年ぶりに開催。来場者数も11万人との報告があった一方、ビバリーモーター(横田基地における演習)が行われ、航空機騒音の苦情が37件。市議会は令和2年にこれ以上、基地機能強化を許さない旨を決議しています。今後も状況を注視し、必要な要請等を行っていきます。

世界経済はインフレ傾向が進み物価の高騰が懸念されています。高齢者世帯への生活支援、子育て世帯のための給食食料費支援等、市民生活を守り抜くための補正予算第4号を本会議最終日に即決いたしました。

市民の活動再開、愉悅に浸るも社会・経済等の動きを冷静に見据え、迅速に対応して参ります。



▲委員会の様子

編集後記